

2025年10月30日

関係機関の長 殿
関係各位 殿

東京大学宇宙線研究所長
萩尾 彰一
(公印省略)

東京大学宇宙線研究所特任専門員の公募について

本研究所では、下記により特任専門員の公募を行いますので、積極的な応募をいただくよう貴関係各位にご周知方お願いいたします。

記

1. 職種及び公募人員：特任専門員 1名
2. 業務内容：重力波観測研究施設が運営する大型低温重力波望遠鏡KAGRAは、真空、低温、レーザー、鏡防振装置など、最先端機器を集約した全長6kmにおよぶ大規模な重力波観測装置です。今後、次回のLIGOやVirgoとの国際共同重力波観測を目指し、様々な側面での性能と安定性の向上を目指した改良を予定しています。中でも、真空と低温機器に関する性能と安定性の向上は急務です。そこで、レーザー干渉計全体の状況も理解したうえで、真空と低温機器の性能向上のための計画の立案と遂行、および、設置された機器の運転と維持管理を主導する特任専門員を求めます。同時に、KAGRA全体の安全管理を担当することも求めます。
※変更の範囲：業務上の必要により配置又は業務を変更することがある。
3. 就業場所：宇宙線研究所附属重力波観測研究施設（岐阜県飛騨市神岡町）の予定
※変更の範囲：原則同一部局内
4. 応募資格：博士号を持つこと。宇宙線研究所の行う研究内容を理解し、研究所の運営支援及び研究支援に意欲のある方。研究現場で研究や研究総括あるいは研究支援に関する経験のある方が望ましい。
5. 着任時期：2026年4月1日以降なるべく早い時期
6. 待遇：時給4,000円～5,000円程度 ※資格、能力、経験等に応じて決定します。法令の定めにより健康保険（文科省共済）、厚生年金、雇用保険、労災保険に加入となります。
7. 任期：雇用は年度ごとに更新し、任期は3年とします。
8. 就業日・就業時間：週4日（勤務日は相談の上決定）
1日7時間45分（8:15～16:45 ※12:00～12:45休憩）
9. 休日：土・日、祝日、年末年始（12月29日～1月3日）

10. 選考：選考委員会による書類選考（第一次審査）を行い、最終選考は、面接によります。（面接を受けていただく方には詳細を連絡します。）
11. 応募書類：件名を「【ICRR2025-11】特任専門員の応募」として、以下(1)から(5)までの書類を、Eメールに添付（PDFファイル）で提出してください。Eメールによる提出に対しては、受信した旨の返信をいたしますので必ず当方からの返信の有無を確認してください。
 - (1) 履歴書（本学様式を <https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/about/jobs/r01.html> からダウンロードの上、作成のこと。Eメールアドレス、職歴及び所有資格を必ず記入のこと）
 - (2) これまでの経歴・職歴の中で、特にアピールしたい事をまとめた文書（図等を含めてよい）（A4判で3ページ以内）
 - (3) 当研究所で特任専門員として勤務するうえでの抱負（A4判で2ページ以内）
 - (4) 着任可能時期
 - (5) 本人についての意見を求められる方2名の名前及び連絡先（電話及びEメールアドレス）
12. 応募締切：2026年1月6日（火）正午必着
13. その他：
 - (1) 「東京大学男女共同参画加速のための宣言」に基づき、女性の応募を歓迎します。
 - (2) 外為法等の定めにより、採用時点で、海外との兼業や、外国政府等からの多額の収入がある場合、研究上の技術の共有が制限され、本学教職員としての職務の達成が困難となる可能性があることから、このような場合、兼業等については、本学における研究上の技術の共有に支障のない範囲に留める必要があります。
 - (3) 試用期間あり（14日間）
 - (4) 受動喫煙防止措置の状況：敷地内禁煙（屋外に喫煙場所あり）
14. 送付先：Eメール application_at_icrr.u-tokyo.ac.jp
メールを送信する際は_at_を@に直してください。
メールの件名に公募番号の「ICRR2025-11」を明記してください。
15. 問い合わせ先：重力波観測研究施設長 三代木 伸二
電話 0578-85-2343
Eメール miyoki_at_icrr.u-tokyo.ac.jp
メールを送信する際は_at_を@に直してください。
16. 募集者名称 国立大学法人東京大学

以上